

## 人間科学研究科紀要第14号発刊にあたって

人間科学研究科長 藤 田 千鶴子

平成16年4月、鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科心理臨床学専攻修士課程（1研究科1専攻）が開学し、14周年を迎えました。平成18年度より、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会臨床心理士養成指定大学院（第1種）に認可され、歩みを進めてまいりましたが、今年度から公認心理師の養成にも対応できるようカリキュラムを整えました。心理臨床学専攻は11名の専任教員と9名の兼任教員からなり、「こころ」の分野と「からだ」の分野を統合した「人間科学」を学べるカリキュラムになっています。

「こころ」の分野は、「臨床心理学特論」「臨床心理面接特論」「臨床心理査定演習」「障害児（者）心理学特論」「被害者臨床援助特論」「文化人類学特論」他に加え、公認心理師資格に対応して設置された「教育分野に関する理論と支援の展開」「家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践」「福祉分野に関する理論と支援の展開」他で構成されています。また、「からだ」の分野は、「神経学特論」「小児医学特論」「精神医学特論」「精神薬理学特論」他で構成され、加えて、「臨床心理学研究法特論」や「心理統計法特論」等、研究活動も視野に入れたカリキュラムが整えられています。

臨床心理実習としては、実習の事前・事後指導を行う「臨床心理基礎実習」「臨床心理実習」、学内外の実習に取り組む「心理実践実習」があり、学内実習は大学院附属の心理臨床相談センターで行っています。当センターは、相談室4室、プレイルーム4室ほか10余室を備え、臨床心理士・公認心理師としての資質をより深める実践の場となっております。また学外実習は、精神科病院等の心理臨床関連施設、児童心理治療施設、療育施設、社会福祉施設、産業保健や司法に関わる機関・施設等で実施しております。

本研究科は、臨床心理士・公認心理師有資格者の専任教員の専門性から、被害者支援、発達支援、スクールカウンセリング、家族支援等に対応できる臨床心理士・公認心理師の養成を目指しているところです。大学院入学1年目には心理臨床学の基礎を培い、2年目は実習と修士論文作成を目指し、臨床と研究の両立に励んでおります。今年度は、修了希望者6名が修士論文を提出し、学位をえました。

教員、院生、スタッフ一同、弛むことなく、その専門性を高め、人間としても成熟していきたいと心から願っております。この3月に、本学大学院は14期生を旅立たせることとなります。非常勤講師、客員相談員、学外実習の先生方、お支えいただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。